

都道府県名	秋田県	授与年度	平成 16 年度
学校種	高等学校	担当する教科等	情報
教授内容	情報教育		
教諭の前職等	都市銀行管理職	年齢	48 歳
内 容	<p>対象学年 2 学年</p> <p>授業時間数（週コマ数） 4</p> <p>1 授与・採用経緯等</p> <p>当人からの申請とともに、当該私立高等学校長から、平成15年度から教科「情報」の必修科目化を受け、当該校の特色の一環としてIT教育の充実を推進することとし、「ITを活用できる人材育成」を目指すため、銀行勤務経験もあり、国家資格「第1種情報処理技術者」を有する当該校の事務局長（申請者）への特別免許状交付について推薦があった。</p> <p>授与に係る教育職員検定に際しては、大学での単位の修得状況や、前職時の研究発表、国家資格並びに推薦書などをもとに、担当する教科に関する専門的な知識経験、技能、識見、熱意などについて審査し、特別免許状審査会（学識経験者3人）より意見を聴取した。</p> <p>2 具体的教授内容・活動実績</p> <p>2学期から主に「情報A」の授業を担当。</p> <p>教授内容は、授業テーマを「社会人としての問題認識能力・問題解決能力の向上」に置き、次の課題を中心に授業を組み立てている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの重要性とその能力向上 2. IT環境の理解と危機管理意識 3. ワードプロソフト、表計算ソフトの修得 4. HP、プレゼンテーション等のソフト理解 5. インターネットの活用と応用 6. 問題解決手法と演習 <p>3 効果・課題</p> <p>都市銀行システム部門管理者を経験し、「情報」関係の専門的知識を有することから、経済社会の要請として発展しているIT世界をわかりやすく解説し、社会人として必要な技能教育も行っており、生徒の関心も高い。</p> <p>学校現場に優れた知識・経験・技能を有する社会人を教員として迎え入れることは、学校教育の多様化につながり、魅力ある私学教育を進める上で大いに役立っている。</p>		